

令和5年度全国学力・学習状況調査 結果分析・活用について

学校名	大磯町立大磯中学校
-----	-----------

1 調査結果の分析で明らかになったこと

	習得の状況が良好であると判断できるもの	指導の改善・充実が求められるもの
国語	文章から適切な答えを読み取ることや適切な表現に直すなど、正しい答えを導き出す力は身につけていると考えられる。	二つの文章を比較して読む、自分の経験や考えを書くという部分において苦手意識を持つ生徒が多い。自分の思いや考えをまとめ、言葉や文章にして表現できる力を、授業を通して伸ばせるよう取り組んでいきたい。
数学	数の意味や式の計算方法について理解し、問題場面における考察の対象を明確に捉え、その方法を用いて解決できる。 関数分野では単純化・理想化された事象について、グラフから情報を読み取り適切に解釈している。	問題解決に向けて、方法を選ぶことはできるが、その方法に関して見通しを持ち、根拠を明らかにしながら文章で説明することへの苦手意識が見られた。 与えられたデータや条件を正確に読み取り、その傾向について数学的な表現を用いて説明する力を授業を通して高めていきたい。
英語	全体的に意欲的に解答しようとする姿勢が見られる。全体的によくできているが、正確に文として答えるということを考えた場合、まだ、文として答えられない生徒がいる。	授業内で、会話活動などに意欲的に取り組んでいるが、間違えた文のままコミュニケーションを取ってしまう可能性が考えられる。その発言が正しかったかどうかのフィードバックの時間を大切に、より実力を伸ばせるよう指導していきたい。
質問紙	ICTを用いた取組みは全体的に進んでおり、生徒の学習に対する取組みもよく、理解度も高いと考えられる。 「困りごとや不安があるときに、大人にいつでも相談できますか」に関して、全国・県平均と比べ肯定的な回答が多い。	いじめの考え方に関し、全国・県平均と比べ、やや否定的な回答が多い。人間関係について生徒と向き合ったうえで対応していく必要がある。 また授業は基本に限らず、より発展させた内容も取り組めるような配慮も求められる。

2 学校運営及び授業の充実に向けた取り組み

- ・学習面では、各教科での基礎的な学力をもとに、協働的な学習等を活用したうえで、自分の意見や考えをもち発表する学習活動をできる限り多くもつようにする。
- ・生活面では、生徒一人ひとりの状況を把握し、教職員や家庭との連携を図ったうえで、人間関係づくりを基本とした実践力を身につける機会を増やしていきたい。

3 家庭（地域）へのお知らせ ※取り組んでいただきたい内容や知っておいてほしい内容等

- ・各種たより、ホームページ等を活用して、保護者や地域の皆様へ情報発信をします。
- ・学習面・生活面について、ご家庭のご支援・ご協力を引き続きお願いします。
- ・ご家庭との連携も含め、タブレットの利活用及び情報リテラシーの推進を図ります。